

【国際地域文化研究科・国際地域文化専攻】ディプロマ・ポリシーに示された「力」とアセスメントの方法・指標

研究科専攻	課程	DPに示された「力」	アセスメントの方法・指標
国際地域文化研究科・ 国際地域文化専攻	M	DP1：文化と社会の多元性を理解するための学問探究に不可欠な資料収集およびそれを読み解き分析する能力	教育方法・学修成果に関する情報と修了時の調査等を組み合わせて把握・分析する。修士論文審査後に、審査委員会において修士論文におけるDP1の達成度について評価を行い、論文の成果を把握・分析する。
		DP2：専門とする地域や文化の研究に関する高度な知識や言語運用能力を有して問題解決に応用できる力	先行研究の精査とその本論との関連付けによって知識・言語能力を判断する。修士論文審査後に、審査委員会において修士論文におけるDP2の達成度について評価を行い、論文の成果を把握・分析する。
		DP3：文化的・社会的共生の実現に資する公正で客観的な判断を行い、多元的な文化と社会の中で意思疎通を図れるコミュニケーション能力	先行研究の検討やフィールドワーク等で得た情報と本論との結びつきを中心に判断する。論文審査後に、審査委員会において修士論文におけるDP3の達成度について評価を行い、論文の成果を把握・分析する。
	D	DP1：国際社会における多様な文化と価値観を理解すると同時に、問題を的確に把握し対処できる能力	博士論文審査後に、審査委員会において博士論文におけるDP1の達成度について評価を行い、論文の成果を把握・分析する。
		DP2：国際地域文化に対する広い視野と豊かな知識を踏まえ、先行研究・資料の高度な分析を基に、専門分野における研究で新たな知を創造する能力	先行研究の検討、その紹介と本論との論理的ー貫性等を中心に判断する。博士論文審査後に、審査委員会において博士論文におけるDP2の達成度について評価を行い、論文の成果を把握・分析する。

国際地域文化研究科 国際地域文化専攻 博士前期・博士後期課程 アセスメント結果の活用表

方法・指標	実施時期	対象年次	結果の活用	レベル※
授業評価アンケート	春学期と秋学期	修業年限内の 全年次生	専攻で実施し、アンケート結果を研究科 委員会で承認し、教育方法、研究環境の 改善に活用。内部質保証委員会からのメ タ評価と改善提案も同様に活用。	学位プログラム レベル/授業科 目レベル
研究倫理教育プログラム受講実 績	入学時（以降、3 年に1度）	初年次	研究推進課が実施し、受講実績を大学院 委員会および内部質保証委員会で報告し て、研究公正の実現に活用。	学位プログラム レベル/授業科 目レベル
学位論文計画書	所定の期日	修了年次生	専攻で共有することで、研究指導の改善 に活用	学位プログラム レベル/授業科 目レベル
学位論文	1月または7月	修了年次生	研究科専攻のDPの達成度の評価に活用。	学位プログラム レベル/授業科 目レベル

※学位プログラムレベル：研究科専攻単位で実施 / 授業科目レベル：教員単位で実施